

-胆嚢癌にて手術を受けた患者さんへ 研究協力をお願い-

現在、消化器・一般外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] T因子（深達度）に基づく胆嚢癌における最適手術範囲と手術方法の研究
～日韓合同プロジェクト～

[研究対象者] 2010年1月1日から2018年12月31日の間に胆嚢癌にて手術を受けた患者さん

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、画像情報、手術情報、病理診断、生存期間、再発日、術前・術後療法の情報

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

胆嚢癌の手術において以下の6つの問題点について、評価する目的です

①胆嚢癌（T1b）に対する最適な術式は何か？、②胆嚢癌（T2）の部位（腹腔側または肝側）は予後に影響するのか？、③T2胆嚢癌の部位により手術方法を変更する必要があるのか？、④胆嚢癌手術における適切な肝切除方法は？、⑤胆嚢癌手術における有用なリンパ節郭清の範囲は？、⑥胆嚢癌に低侵襲手術（腹腔鏡下およびロボット手術）の導入は可能か？。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

上記の診療情報等を、下記機関に対して、〇〇の実行のために／〇〇の測定のために／〇〇の共同研究実施のために提供します。

[主な提供方法] 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

1. 金沢大学 医薬保健研究域医学系 肝胆膵・移植外科学/小児外科学 教授・八木 真太郎

2. Wooil Kwon, Jin-Young Jang (Seoul National University Hospital, Seoul, Korea,
Hepatobiliary and Pancreatic Surgery

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年3月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 消化器・一般外科 肝胆膵外科学 本田五郎

研究問い合わせ先：東京女子医科大学 消化器・一般外科 肝胆膵外科学 松永雄太郎

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）、ファックス：03-5269-7507

Eメール：matsunga.yutaro@twmu.ac.jp